

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社あおぞら銀行（証券コード:8304）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
短期発行体格付	J-1

■格付事由

- ストラクチャードファイナンス（SF）における高い専門性などに強みを持つ銀行。LBO ファイナンスや不動産ファイナンスの分野で確立された事業基盤や、相応の資本充実度が長期発行体格付を支えている。貸出資産の質や基礎的な収益力はJCRの想定に概ね沿うかたちで改善が進んでおり、格付の見通しは「安定的」である。なお、当行は大和証券グループ本社の持分法適用関連会社だが、大和証券グループの戦略における当行の位置づけや経営の独立性を踏まえ、格付には当行単独の信用力を反映している。
- 基礎的な収益力には回復がみられる。24/3期には外貨建債券の運用にかかる損失などにより連結実質業務純益は赤字となったが、26/3期第3四半期累計は前年同期比で約5割の増益となる265億円となった。旺盛な需要を背景としたLBOファイナンス関連の収益拡大などが寄与した。今後は、大和証券グループとの連携の本格的な寄与、連結子会社であるGMOあおぞらネット銀行の業績成長なども見込まれ、当面、収益力は回復傾向をたどるとJCRはみている。
- 当行の貸出資産はSFや海外貸出のウェイトが高く、外部環境変化の影響を比較的受けやすい。24/3期に多額の与信費用を計上した米国オフィス向け貸出については不良債権の処理が着実に進捗している。現在は国内を中心に貸出残高を増加させているが、LBOファイナンスなど相対的に高リスクの貸出も含むため、資産の質が保たれるか注目していく。
- 有価証券運用では、外国債券へ積極的に投資してきた経緯から海外金利上昇の影響を強く受けている。逆ざやの有価証券を相当額抱えていることが利益を下押ししているほか、外国債券を中心にその他有価証券は評価損の状態にあり、財務面の余裕度を一定程度下押ししている。一方、大規模なヘッジや一部有価証券の売却などを通じリスク量は削減されており、かつ従前よりも保守的に運用を行う方針としている。評価損が大幅に拡大するリスクは抑制されているとJCRはみている。
- 資本充実度はAレンジに見合う。25年12月末の調整後連結コア資本比率（その他有価証券の評価損などを調整後）は約9%。今後は貸出残高の増加などに伴うリスクアセットの拡大が見込まれるが、内部留保の蓄積などにより一定の資本水準は保たれるとJCRは考えている。資金流動性に特段の懸念はない。外貨建て資産の規模が大きいのが、調達安定性や管理態勢に問題はみられない。

（担当）大石 剛・古賀 一平

■格付対象

発行体：株式会社あおぞら銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的
対象	格付	
短期発行体格付	J-1	

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年2月24日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：大石 剛
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「銀行等」（2021年10月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社あおぞら銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル